

漢族移住による貴州黔东南苗族の“漢化”

曾 士才
(法政大学)

1 本報告の趣旨

中国において、少数民族は圧倒的な漢文化の影響のもと、生活のあらゆる分野で大きな変化を経験してきている。西南中国ではこうした変化はすでに近世から始まっており、特に改土帰流を行い、王朝による直接支配が実施されてからは、漢文化の影響が顕著である。

「漢化」は支配者側や移住漢族からの一方的な働きかけではなく、体制に順応するため、少数民族側から主体的に行った側面も持っている。本報告では、貴州省東南部の黔东南自治州のミャオ族を事例にして、漢化の実態を考察する。

20世紀の80年代に入り民族政策が好転すると、各地で民族復権や民族文化復興の動きがみられるようになった。西南中国各地では、この時期に民族文字の普及活動や学校教育への導入が行われた。この地域に住む多くの少数民族は従来文字を持っておらず、50年代にアルファベットをもとに民族文字を創作し、試験的に実施したが、民族融合論により実験は頓挫した経緯がある。民族文化復興の象徴として民族文字教育の実験再開が選ばれたのである。また、観光化や世界遺産への申請準備などの動きに触発されて、民族文化に対する再認識や活性化の動きが見られるようになった。

本報告は、近年のこうした動きに至る前段階としての近世以降の漢化の動き（教育、習俗、信仰に焦点を当てて）を捉えなおし、「漢化が更に進んでいった場合、民族意識は変容していくのか、それとも更に従来の民族意識が強化されるのか」[三尾・本田 1999:9]という三尾氏の問いかけに、リプライすることを目標にしている。

2 黔东南苗族地区の社会変動—王朝支配と漢族移住

西南中国の少数民族地域

元朝 土司制度を創設 「夷を以って夷を制す」という方針

少数民族の有力者を首長に任じて統治させる

明朝 改土帰流 次第に土司を廃し、直接統治を行う

清朝 雍正年間（1723年～35年）に西南中国各地の大土司を廃嫡、朝廷から官吏（流官）を派遣

役所である庁の設置、營・汛（街道沿いの詰所）、屯堡などの軍事拠点の設置

黔东南苗族地区（地図参照）

従来は王化に浴さない「苗疆」（土司による間接支配もなかった）

1726年（雍正4）流官の派遣。武力による平定

1733年（雍正11） 八寨、丹江、都江、古州、清江、台拱の6つの庁設置
庁への年貢、屯田兵による田畑収奪、營、汛への通行税

江西、湖南から来た漢族の商人、高利貸しに頻繁に土地を騙し取られる
清江（現在の剣河）、台拱（現在の台江）、丹江（現在の雷山）一帯では、流官の
下に特別に漢族の土司を設置 → ミャオ族統治をより強固なものに
漢族土司への年貢、無制限の労役義務

1735年（雍正13）～36年（乾隆元） 古州（現在の榕江）、清江（剣河）、台拱（台江）、
丹江（雷山）、凱里を中心に1,224か村、数十万人が蜂起に参加。鎮圧後のミャオ
族人口は二、三割に激減

1855年（咸豊5）～72年（同治11） 張秀眉の起義。鎮圧後、湖南省軍は水陸交通の要で、
軍事的、経済的要衝である施洞口（台江北部）に駐屯 → ミャオ族への睨みを利
かす

3 黔东南苗族地区における漢化～子弟の教育

<儒学>官立学校における四書五経の教育

貴州省における官立学校

明代初期 苗漢雑居地域の増加、学校教育も発展

1369年（洪武2）全国に府、州、県学の設立を命じる

1413年（永楽11）貴州布政使を置く

1413年～1630年（崇禎3）43カ所の学堂（府学12、衛学19、州学4、県学8）

清代 雑居地域および苗地域でも全面的に発展

改土帰流完成後（特に乾嘉、咸同年間の苗民起義以降）

～1838年（道光18）66カ所の学堂

黔东南苗族地区における官立学校

明末 10カ所（府学3、州学1、県学1、衛学5）

1481年（成化17）少数民族上層の子弟の入学開始

清代改土帰流後 科挙試験において、府、州、県学の毎期の郷試で必ず苗生1～2名を合格
させること規定

<苗学>苗民を対象とした四書五経の教育

苗疆義学（義塾）の設立

少数民族集住地域に設立、個人（苗の挙人）が土地・田畑を提供／宗族が資金を募る

1705年（康熙44）貴州省各府、州、県に義学設立 土司の子弟が通う。家族、一般の苗民
子弟も入学可能

1723年（雍正元）黔东南で67カ所

1873年（同治12）咸同起義の中心地であった丹寨11カ所、雷山32カ所、台江23カ所

cf. 貴州省全体301カ所

私塾の設立

金持ちの屋敷、義塾、教師の家；教師は落第文人／高等小学卒業生；ミャオ語で教学指導

1896年（光緒22）台江県に9カ所

1949年 台江県に 19 ヲ所

4 黔東南苗族地区における漢化～習俗と信仰

風水信仰 中華文明に由来する文化をミャオ化

グオンオウ・グオンビ（水の龍・山の龍）という龍信仰が受容の受け皿

年中行事における漢化 2つの地域差（表 1、2）

cf. ミャオ族の影響を受けた漢族の行事

社会的差別を伴う憑きもの信仰 蠱（ジャ・チョ）と釀鬼（リャン・ゴォ）（表 3）

釀鬼信仰 近世以降先住民ミャオ族が征服者である漢族と接触するなかから誕生した歴史的産物

釀鬼に関する諺 「肥りすぎるとニキビが出やすく、金持ちになると釀鬼になりやすい」「釀鬼とはえせ漢族の役人、えせ漢族の役人とはミャオ族の奸佞」

（現状は姻戚関係にある人々の間での釀鬼持ちの告発、他所からの移住者に対して釀鬼のレッテルを貼ることが多い）

憑きもの信仰のメカニズム

- ① 呪術社会の体系内において、男性呪術師の傘下に入る女性呪術師（仙娘）は認知され、男性呪術師にはむかう女性呪術師は体系内の境界侵犯者として、蠱婦という異端者の烙印を押し、周縁に追いやる→呪術社会における男性優位という秩序を維持する
- ② ミャオ族の共同体の一員ではあるが、清末の「えせ漢族の役人」はミャオ族社会と漢族社会という二つの構造の間隙にあり、共同体に完全に所属している者の眼からすれば、このような共同体において比較的不明確な部分にいる人々である。彼らの二面的忠誠心や彼らの関係する構造における曖昧な地位の故に、危険なものともみなされるのである。しかし、漢族の威を借りた「えせ漢族の役人」に正面からたて突くことはできない。世俗的形式での制御が困難な部分に制御を加えるための手段として釀鬼信仰が生まれた

<参考文献>

- 三尾裕子・本田洋『東アジアにおける文化の多中心性』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1999年（2001年風響社より公刊）
- 周星・劉援朝「貴州苗族地区的教育与發展問題（上）」『民族教育研究』1995年第4期
- 台江県地方志編纂委員会編『台江県志』貴州人民出版社 1994年
- 渡辺欣雄「沖縄から尋ねる中華文明」末成道男編『中原と周辺—人類学的フィールドからの視点』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1999年（1999年風響社より公刊）
- 塚田誠之「チュワン族の年中行事の地域差について—漢族との比較において」竹村 卓二編『儀礼・民族・境界 華南諸民族「漢化」の諸相』風響社 1994年
- 曾士才「ミャオ族における風水信仰（貴州）」聶莉莉・韓敏・曾士才・西澤治彦編『大地は生きている—中国風水の思想と実践』てらいんく 2000年

曾士才「華南におけるミャオ族のケガレ」阿部利晴・綾部真雄・新屋重彦・結城史隆編
『アジアの浄と不浄』明石書店（近刊）
メアリ・ダグラス『汚穢と禁忌』思潮社 1995 年

表1 (☆印はミャオ族の伝統行事)

	台江県・漢族	台江M村(県城から徒歩10分)	雷山県L村(県城から16キロ)
農曆1月	1/1春節(搗き餅、ブタ)	1/1大年初一(搗き餅、ブタ)	
	1/15元宵節	1/15龍灯会	
2月	2/2祭橋煮紅蛋☆	2/2敬橋節☆(炒めモチ、オコワ、 鯉、アヒルの卵、鶏卵)	2寅 祭菩薩☆(オコワ、赤雄鶏、 酒)
3月	清明節	清明節	3午 肥坡節☆
4月		過立夏(「豆腐筍」)	
5月	5/5端陽節	5/5端午(チマキ)	
6月		6卯 吃卯(初穂儀礼)☆(チマキ)	6午 玩水節☆
7月	7/13・14中元節(七月半) 初穂	7/13焼包(七月半)	7二卯 吃卯☆(鶏、鯉、ブタ肉、オコワ)
			7二卯 祭橋・祭岩石☆(アヒル、 雄鶏、鯉、アヒルの卵、オコワ)
8月	8/15中秋節(月餅、瓜果)	8/15八月十五(カボチャ、大豆、 地瓜)	
9月	9/9重陽節(搗き餅、重陽酒)	9/9大粑堵洞蛇☆(搗き餅)	
10月		10初丑 苗年☆(搗き餅)	10辰 苗年☆(ブタ、搗きモチ、鶏、 アヒル)
11月			11初辰 掃寨☆(水牛、鶏)
12月			

表2 苗年と春節の名称とすごし方—漢化の度合いのバロメータ—

	M 村	G 村	W 村
苗年	台江泉城から徒歩10分 小年 (niangx yut)	台江泉城から15キロ 小年 (niangx yut)	台江泉城から30キロ 大年 (niangx hliei)
春節	餅つき 大年 (niangx hliei)	闘牛、木鼓舞 大年 (niangx hliei)	闘牛、木鼓舞 小年 (niangx yut)
	餅つき盛大		

表3

	蠱 (邪術)		蠱鬼 (妖術)
分布地域	鳳凰など湖南省西部 (東部方言集団)	松桃など貴州省東北部 (中部方言集団)	台江など貴州省東南部 (中部方言集団)
原因物	*腹中で飼う	蠱毒 (罐の中で生き残った毒汁)	脱魂型生霊 (人間)
目的・動機	呪う人の意図的な憎悪、嫉妬	*罐の中に残った毒汁	呪う人の無意識の憎悪、嫉妬
症状・被害	肺結核、慢性肝炎、慢性腸炎 人、樹林、水源、家屋	人格化した蠱の意思 (仇敵関係、異性をめぐる争奪)	急性疾患 虫垂炎、急性胃腸炎、急性 脳膜炎
原因者	美人/醜女 母から娘へ、非血縁の女性にも伝わる	特定の家系の女性 (目の赤い蠱婦) 美人	特定の家系の全成員 美男、美女、裕福な家
社会的差別	婚姻忌避 (蠱婦とその子女) 漢族への身売り、処刑も	婚姻忌避 (蠱婦とその娘)	婚姻忌避 (家族全員、姻戚も)
対処法・治療法	護符、呪文、言い習わし 収蠱、蠱の入った罐の焼却	巫婆処方の薬	茅で祓い (呪術師の関与?) 風説流布者による贖罪
主たる資料	[凌、丙 一九七八] [沈 一九九一]	[麻 二〇〇二] [馬、今 一九八三] [顧 一九八九][李 一九九一] [曾 一九九一][曾 一九九六]	[馬、今 一九八三] [顧 一九八九][曾 一九九一] [曾 一九九六]

